

第十回句会 俳句

【高点句】

- ☆新緑や蛇口の水に口つけて 〈静〉  
☆緑さす風さやさやと鎌倉路 〈撫子〉  
☆葉にのせて毛蚕(けこ)見せに来る及び腰 〈眞澄〉  
☆葱坊主唯我独尊風渡る 〈千恵〉  
☆自転車を駆る子追う父風薫る 〈安津子〉  
☆新妻先ず風鈴吊るす釘を打つ 〈紗希〉  
☆万緑や我小(ち)さきこと小さきこと 〈千恵〉

【各自一句】

- ・百余歳百合に包まれ伯母逝きぬ 〈貪愚理〉  
・朝まだきまどろみ醒ますはたた神 〈一馬〉  
・一面に芥子を咲かせて売地札 〈眞澄〉  
・夏燕アクロバットに飛び交ひて 〈明美〉  
・雷や苦吟の果ての寝入り端 〈静〉  
・ジープの太腿細しソーダ水 〈紗希〉  
・松山や萌える緑に浮かぶ城 〈莫院〉  
・糠漬けのきゅうりしなりて水しぶき 〈安津子〉  
・新緑に少女うつむく詩のはじめ 〈抹茶〉  
・母の日に子の代わりにて贈る花 〈隆司〉  
・青葉風逝き人の声運び来よ 〈千恵〉  
・母の日や祝い祝われ笑みこぼれ 〈撫子〉

\*以上、35句(3句ずつ11名、2句1名)より、選句は15名による

\*高点句は、高得点の句より3句(同点の句がある場合は、第三位の句迄)

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による